



でらボラ

NAGOYA

通信

2015.

7

vol.1

ご支援、
ありがとうございます！

真宗大谷派名古屋教区内有志災害ボランティアネットワーク 発行

私たちは、2011年3月11日に発生した東日本大震災を機に、被災地の復興と、人と人とのつながりの回復を願う有志によって結成されたネットワークです。

活動支援のカンパなど、引き続き本会の活動へのご支援、宜しくお願い申し上げます。

募金は「一如さん（毎月12日）」の募金箱、もしくは下記の口座までお振込みください。

【口座名義】真宗大谷派名古屋教区内有志災害ボランティアネットワーク

【ゆうちょ銀行振替口座 口座記号番号】00800-8-174946 【支店名】名古屋橋

あなたなら
どうします？

**災害ボランティアをする！
その時にそなえて。**

今後30年のうちに発生する確率70%と言われている「南海トラフ地震」。多くの方が、いやおうなしに被災者であると同時に、支えあう立場になります。みなさんは、「その時」にそなえていますか？



**震災当時から
ボランティアに関わる**

真宗大谷派現地復興支援センターの木ノ下俊秀さんに、ボランティアの心構えをお聞きしました。

木ノ下俊秀さん（真宗大谷派現地復興支援センター）

でらボラ NAGOYA では、ボランティア活動のほか、被災に備える研修や訓練などを、寺院で実践的に行っています。

- ・「ボランティアをするにしても、まずは自分と自分の家族のことを考えること！自分が救われないと、誰も救えません。」
→自分が被災することを考えて、食料の備蓄はもちろん、家族の集合場所や合図（笛の回数・リズムなど）を決めておくこと。
- ・「明かりがないと人間は簡単にパニックになります。」
→小さな電灯を携帯しておくこと。
- ・「避難所は、お互い支えあわなければなりませんが、最初の1週間～10日間はたいへん殺気立って、ボランティアと被災者が対立することも。」
→事前に、震災時には私や私の家族、そして地域の人たちをどうするかを考えること。（先月の避難所生活特集を参考にしてください）

でらボラ☆これまでの活動報告

【あゆみ R.P.Net さんの街頭呼びかけイベントに協力しました！】

日時 2015年6月24日（火）／場所 金山駅南口前

あゆみ R.P.Net さんの街頭呼びかけイベントがありました。あゆみ R.P.Net さんは東北や関東から愛知県に自主避難された方々の支えあいの団体です。

今回は原発事故子ども・被災者支援法の実態とそこから漏れる人たちの苦しみを街ゆく人たちに呼びかけました。歌手の方や大道芸人、また「ダキシメルオモイ」の小林憲明さんが共に呼びかけしてくださった他、アンケートに協力していただく形で未だ苦しみの中にある生の声を市民にお伝えしました。（大河内真慈）



【「G.ぷんだり〜か」福島テツナギプロジェクト5 ライブツアー】

日時 2015年6月16日（火）～26日（金）／場所 福島県各地

今年も福島ライブツアーに出ました。バンド演奏と炊き出し、全10名のツアーでした。

まず、福島県新地町役場を訪れ、その夜、新地町の高台にあるお寺（曹洞宗法輪寺）でのライブと懇親会。初めて新地町を訪れた2011年9月から毎年訪れていた前田仮設も入居者が減って、今年はライブでは訪れないことになっていましたが、その前田仮設に住んでおられた方々がライブ会場に来てくださっていました。感激でした。一方、独居老人の集合住宅での孤独死の話とかも聞いて…。とても哀しい思いもありましたが、最後は二本松市同朋幼稚園でのライブ。子どもたちと目いっぱい盛り上がり帰ってきました。（伊藤 修）



新地町の法輪寺さん



福田保育園でのライブ



新地町福田小学校での大盛り上がり！

【昨年度の決算報告】

本会の規約に則り、私たちの宗派（真宗大谷派）の会計年度（7月1日～翌6月30日）にあわせて収支決算をいたしましたのでご報告いたします。皆様のご支援を大切に使用して頂いております。

2014年度 でらボラ会計報告

収入 3,158,929 円
支出 1,677,183 円
差引 1,481,746 円
(2015年度へ繰越し)

「でらボラ基金」設立しました！

皆様の支援をいただき「でらボラ」は年間300万円を超える運営規模になりました。これを機会に、100万円を資金として基金を設立しました。
これによって、これまで対応が難しかった①全国の被災地への緊急措置、②生活困難に直面する自主避難家族への即効性のある支援を、柔軟に進めることができるようになります。